

皆様に知ってもらいたい寄附金の使い道

ユネスコ・デザイン都市あさひかわ

旭川市は、2019年10月にユネスコ創造都市ネットワークにデザイン分野で加盟し、デザインを活用したまちづくりを進めています。

デザインは「利用者の視点で課題やニーズを見極め、これまでの発想にとらわれず、その解決策や実現方法を生み出すこと」と捉え、まちの課題解決や持続的な発展のため、皆様からの寄附を活用しデザイン人材の育成と企業支援に取り組んでいます。

デザイン人材の育成と子どものデザイン教育

デザインを実践できる人材の育成のため、デザインする過程を体験するワークショップをはじめ、気軽に参加できるセミナーから、学校向けの出前授業、数か月の人材育成プログラムなど、子ども～大人を対象に、様々な学びの場をつくっています。

デザイン経営の普及

デザインは企業のブランディングやイノベーション創出にも有効です。金融機関や経済団体と連携し、デザイン経営やデザイン経営シートを学ぶセミナーなどを開催し、中小企業のデザイン経営導入を支援しています。

創造都市とのネットワークの構築

国内外のユネスコ創造都市とネットワークを築き、事例の共有や連携により、効果的に事業を進めるほか、ネットワークを生かしデザイン都市・旭川を世界に発信します。

寄附金の使い道

いただいた寄附金は、デザインを活用した持続可能なまちづくりのため、地域の未来を牽引するデザイン人材の育成やデザイン思考・デザイン経営の普及、ユネスコ創造都市ネットワークに関する各種事業に活用させていただきます。

お問合せ先

経済部産業振興課 電話 0166-65-7047